

## 経営体の概要

- ・所在地:青森県弘前市
- ・経営体名:株式会社ミウラファーム津軽
- ・経営面積 (令和6年)
  - 水稲100ha (うち疎植・密播40ha、直播25ha)、小麦5ha
  - 作業受託 (収穫乾燥40ha、無人ヘリ防除2,700haほか)
- ・労働力:9名 (役員2名、社員4名、臨時雇用3名)

## 導入技術

- ・K S A S (クボタスマートアグリシステム)
  - ほ場管理システム
    - スマートフォンでほ場を特定
  - 食味・収量コンバイン
    - 収量・食味を測定
  - K S A S 乾燥システム
    - 収穫～乾燥調製の見える化

## 導入の背景

- 周辺農家の高齢化・離農によって、急激に農地が集積。従事者も増加し、紙面・口頭によるほ場の特定、作業者への作業指示とも困難になっていた。
- このため、ほ場の特定と作業効率の向上を目的として、平成26年にK S A Sを導入することとした。

## 導入の成果と今後の予定

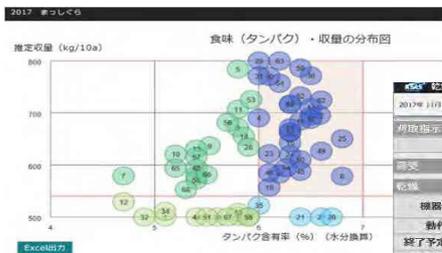
- ほ場管理システムの導入により、スマートフォン等でほ場の場所や作業指示を確認できるようになり、作業効率が向上した (当初の導入目的を達成)。
- ほ場管理システムと連携した食味・収量コンバインの導入により、肥沃・湿田等のほ場の特性を把握。その結果に基づく可変施肥 (適正施肥) により、肥料費の削減、倒伏の減少、品質・収量の安定化を実現。タンパク値を基準とした「良食味米」の仕分けが可能となった。

- 本格稼働前 (平成27年) に比べ、経営面積が50ha拡大した。
- 経営面積の拡大 (50ha→100ha)

- ミウラファームでの取組を参考に、近隣大規模法人も同システムをほ場管理 (大豆75ha) に導入

### 【今後の予定】

- ・ 玄米タンパクの出荷基準のある「青天の霹靂」の安定生産
- ・ K S A Sを活用した、さらなる経営の安定



### ↓ 乾燥機のモニタリング画面

乾燥機 モニタ			
2017年11月27日 21:04 000			
稼働指示			
残圃畝数	0	残予選石数合計	0.0
稼働			
稼働			
機番名	4号機	3号機	2号機
動作			乾燥中
終了予定時刻			本日 16:11
件数計画	2017 まっしぐら	2017 まっしぐら	2017 まっしぐら
圃場	しご公園,高町 1,…他	高町 1,西 3,西 …他	りんご公園,りんご公園…他
張込量	43.7石/機1.3石	43.5石/機1.5石	52.1石/機2.9石
穀物量	45.0	45.0	55.0
	22.5	22.5	27.5
	0.0	0.0	0.0
水分/おボク	/	/	20.1%/7.9%
排出先	排出	排出	

↑ 食味・収量コンバインによる食味・収量分布図